

1月オプション・レビュー

1日平均出来高は前年比37%増の430万枚と過去最高を記録

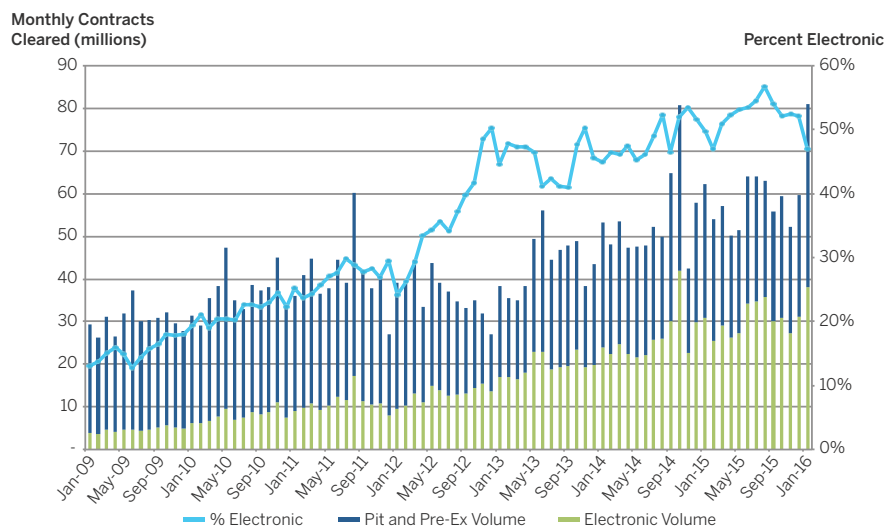
オプションは、不確実性が漂う市場に最適な取引であり、1月に記録した過去最高の出来高は、オプションを活用すればポートフォリオに柔軟性、精度、カスタム化がもたらされることの証です。

- オプションのADV（1日平均出来高）は前年比37%増の426万3,738枚と過去最高に（前回の記録は2014年10月の350枚）
- オプションの電子取引ADVは前年比30%増の200万2,731枚（前回の記録は2015年7月の196枚）

1月統計

資産クラス	電子取引 ADV (前年比)	全取引場所ADV (前年比)	月末 総取組高
オプション合計	2,002,731 (+30%)	4,263,738 (+37%)	56,723,828
金利・債券	871,408 (+50%)	2,774,010 (+60%)	39,990,245
株価指数	681,375 (+22%)	744,964 (+22%)	4,264,718
エネルギー	192,315 (+55%)	397,698 (+14%)	7,462,261
農産物	142,523 (-9%)	214,681 (-21%)	3,176,547
FX	84,900 (-12%)	89,422 (-11%)	690,055
金属	30,211 (+4%)	42,963 (-7%)	1,140,002

先物オプションの月次出来高- 取引場所別



金利・債券オプション

CME金利・債券オプションでは、1日に取引される想定元本取引は1兆ドルを超えます。全満期に対して自ら活用できるオプションについてご存知ですか？

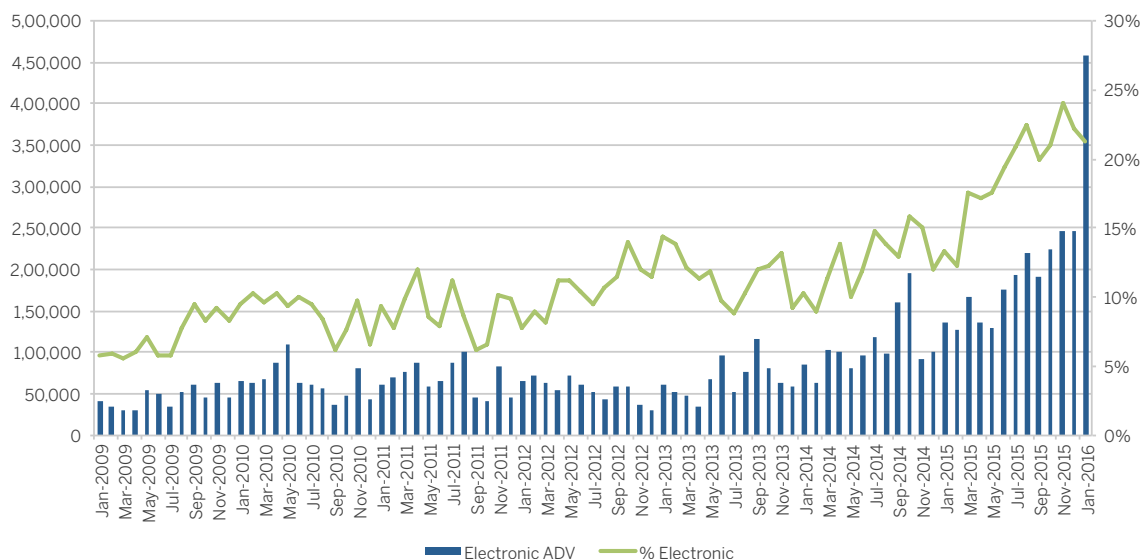
1月のハイライト

- 金利オプションのADV：前年比60%増の277枚4,010枚と過去最高を記録
- 電子取引経由の金利オプションのADV：前年比50%増の87万1,408枚と過去最高を記録
- ユーロドル・オプション
 - ユーロドル・オプションの1日平均出来高は220枚（Globexにおける記録は45万8,000枚）これには1月19日に達成した過去最高の日次出来高427万9,584枚が含まれており、2013年6月24日に付けた349万3,675枚の前の記録を更新
 - 1月の総取引組高は1,043万枚増加。これまでの最大級の伸びを示したのは2015年6月限ブット（+234万枚）と2015年12月限ブット（+236万枚）。1月31日現在の総取引組高は3,650枚に達し、2007年半ばに付けた史上最高水準の3,700万枚に接近
- ウルトラ10年国債オプションが取引開始：上場以来の出来高は106枚

最も活発に取引される金利・債券オプション-2016年1月

オプション商品	銘柄コード (CME Globex)	電子取引ADV (前年比)	全取引場所ADV (前年比)	ブット比率
ユーロドル（四半期、シリアル、ミッドカーブ）	GE, GE0-GE5	458,310 (+237%)	2,151,618 (+110%)	61%
10年国債	OZN	198,567 (-28%)	320,488 (-28%)	51%
5年国債	OZF	75,327 (+45%)	120,871 (+42%)	58%
長期国債	OZB	71,994 (+23%)	88,510 (5%)	46%
国債週次オプション	ZN1-5, FV1-5, ZB1-5	65,021 (+31%)	88,143 (+19%)	46%
2年国債	OZT	2,080 (-73%)	3,832 (-78%)	54%
ウルトラ長期国債	OUB	102 (-78%)	206 (-77%)	67%
30日物フェデラルファンド	OZQ	0	337 (-41%)	84%

ユーロドル・オプションの電子取引ADV



新しくなった米国債分析

- 新しくなった当社のQuikStrikeのツールをお試しください。受渡適格銘柄のバスケット、インプライドボラティリティ、レボレート、ならびに権利行使価格からインプライドイールドへの転換を網羅した銘柄リスト等、米国債取引に関する分析が掲載されています。

cmegroup.com/treasuryanalytics

株価指数オプション

1月に1日平均出来高が過去最高の74枚4,964枚（前年比22%増）に達したCMEグループの株価指数先物オプションは、様々な取引戦略に合わせて24時間流動性にアクセスすることが可能で、市場の厚みや世界中のベンチマーク指数をベースにした広範な銘柄を提供します。

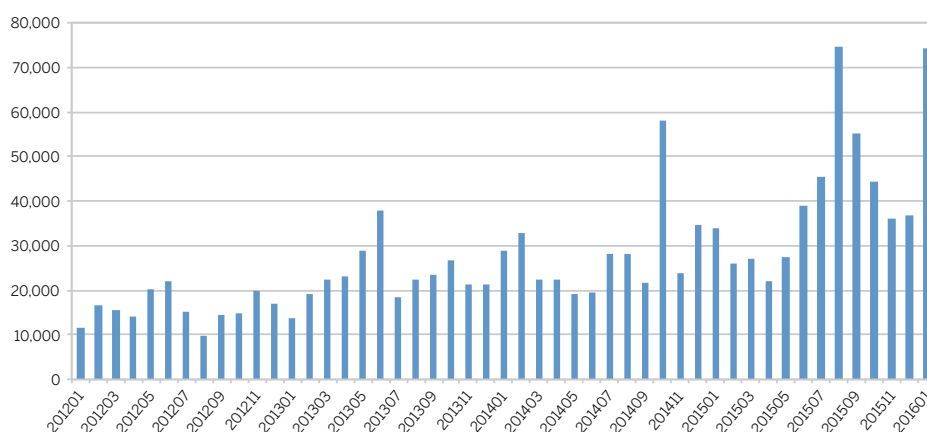
最も活発に取引される株価指数オプション – 2016年1月

オプション商品	銘柄コード (CME Globex)	1月のADV (前年比)	電子取引の比率	ブット比率
E-mini S&P 500	ES	436,383 (+26%)	100%	62%
E-mini S&P 500 週次	EW1, EW2, EW4, EW5	147,260 (+5%)	100%	64%
E-mini S&P 500 月末	EW	79,720 (+24%)	100%	62%
S&P 500	SP	50,990 (+35%)	0%	67%
S&P 500 月末	EV	6,639 (+24%)	0%	69%
S&P 500 週次	EV1, EV2, EV4, EV5	4,600 (-22%)	0%	78%
E-mini NASDAQ 100	NQ	14,624 (+117%)	100%	55%
E-mini NASDAQ 100 週次	QN1, QN2, QN4	1,797 (+127%)	100%	43%
E-mini NASDAQ 100 月末	QNE	1,727 (+293%)	100%	64%
E-mini Dow (\$5)	YM	1,224 (+52%)	100%	54%

米国取引時間外の取引が急増

- 米国取引時間外の1日平均出来高は前年同月比120%増の約7万4,342枚に達しており、材料が出現したときにすぐに流動性を活用することができます。

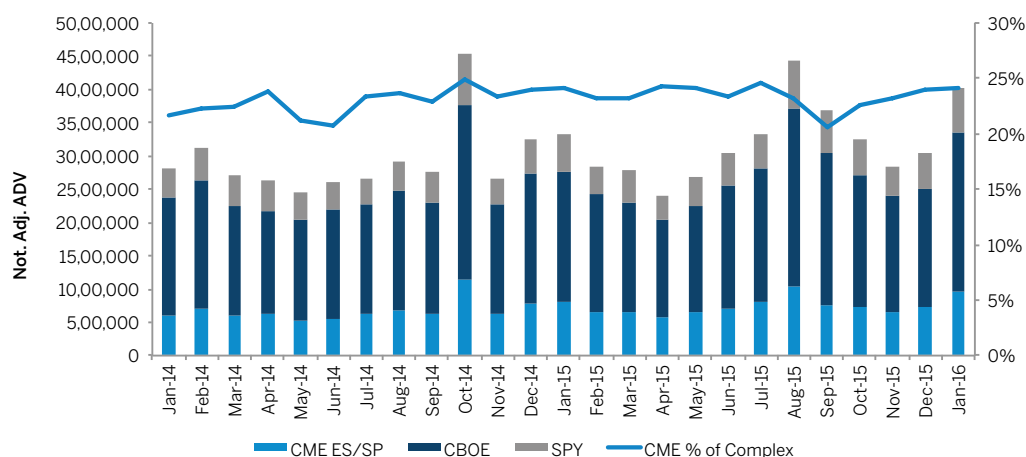
米国取引時間外の株価指数オプションADV



無視できない約25%を占める市場シェア

- CMEのS&P 500先物は、5年複利計算年率成長率が42%に達しており、CBOEの現物オプションとSPYに対して25%の市場シェア（想定元本調整後）を維持しています。

S&P500オプションの月次市場シェア



エネルギー・オプション

流動性が高く広範囲なエネルギー・オプション市場では、ニーズに最適な取引場所と取引ソフトウェアを自由に選択することができます。

最も活発に取引されるNYMEXオプション- 2016年1月

オプション商品	銘柄コード	決済方法	ADV	総取組高*
WTI 原油	LO	現物	235,611	2,937,675
WTI 1ヵ月カレンダー・スプレッド・オプション	7A	差金決済	11,999	321,055
WTI 1ヵ月カレンダー・スプレッド・オプション	WA	現物	11,334	306,777
WTI 原油ヨーロッパ・オプション	LC	差金決済	3,842	119,153
WTI-ブレント・スプレッド・オプション	BV	差金決済	2,464	31,400
WTI 原油週次オプション	LO1-LO5	現物	1,056	1,586
ブレント原油先物-証拠金方式オプション	BZO	差金決済	329	868
天然ガス・ヨーロッパ・オプション	LN	差金決済	101,441	2,761,850
天然ガス・オプション	ON	現物	16,224	147,280
天然ガス日次オプション	KD	差金決済	1,540	0
天然ガス1ヵ月カレンダー・スプレッド・オプション	G4	差金決済	904	21,980
NY 港渡し(ULSD)	OH	現物	3,556	66,992
RBOB ガソリン	OB	現物	2,119	35,187

*総取組高は、2016年1月29日現在

WTIオプションが過去最高に

- WTI オプション (LO) は、1月に1日平均出来高が前年比28%増の23万5,664枚と過去最高を達成
- 1月のWTI オプション (LO) の電子取引経由の1日平均出来高は、前年比53%増の16万7,747枚と過去最高
- 1月の原油スプレッドの電子取引経由の1日平均出来高は5万8,000枚と過去最高を達成

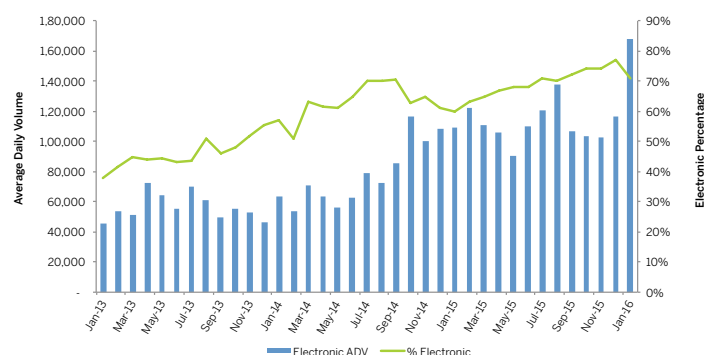
昨年取引開始となったブレント原油先物-証拠金方式オプション(BZO)が盛り上がりを見せる

- BZOの1日平均出来高は329枚（1月22日に付けた過去最高の日次出来高1,400枚を含む）
- 総取組高はピーク時に2,168枚に達し、月末は868枚

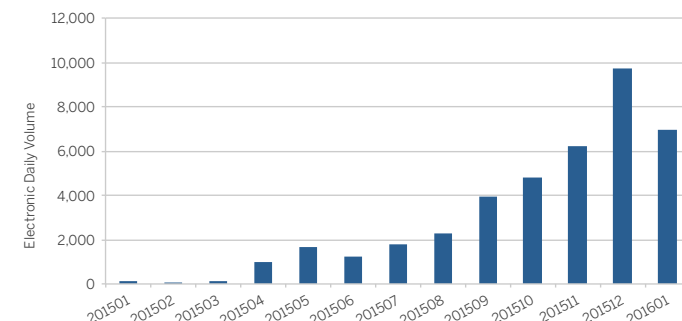
ベンチマークである差金決済の天然ガス・オプションの電子取引経由の出来高が好調

- 天然ガスオプション (LN + ON) の出来高の19%以上は電子取引経由
- 差金決済の天然ガス・オプション (LN) : 電子取引ADVは5000%超増の6,976枚（月間で史上2番目の水準）
 - 天然ガス・ヨーロッパ・オプション (LNE) のRFQの動向が拡大し、100%に近いレスポンス率を達成
- 電子取引スプレッドの1月平均出来高は前年比487%増の7,896枚

NYMEX WTI オプション(LO)の電子取引経由の出来高とその比率



天然ガス差金決済オプション(LNE)の電子取引経由の1日平均出来高



農産物オプション

CMEグループが扱う農産物オプションの多岐にわたる銘柄により、市場参加者は、効果的なリスク管理に必要とされる柔軟性と厚みのある流動性を利用し、ボラティリティ戦略やイベントドリブン取引を執行することが可能です。

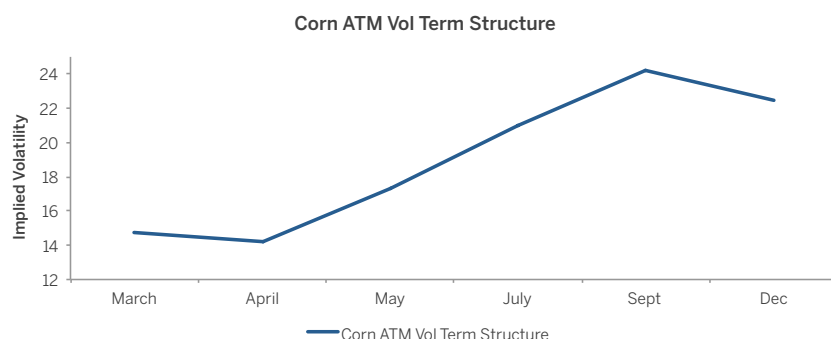
1月の取引状況

- 価格とボラティリティが当月も抑制されたことにより出来高は減少
- 穀物の短期物と長期物を比べてみると、ボラティリティに大きな差が発生
- 12月限のトウモロコシ・オプションの取組高は、プレミアムが低下したなかで前年比20%減少
- 農産物オプションの1日平均出来高は21万4,681枚、前年比21%増加
- 1月の電子取引の比率は、穀物および油糧種子オプションが67%、畜産物が64%、乳製品が47%

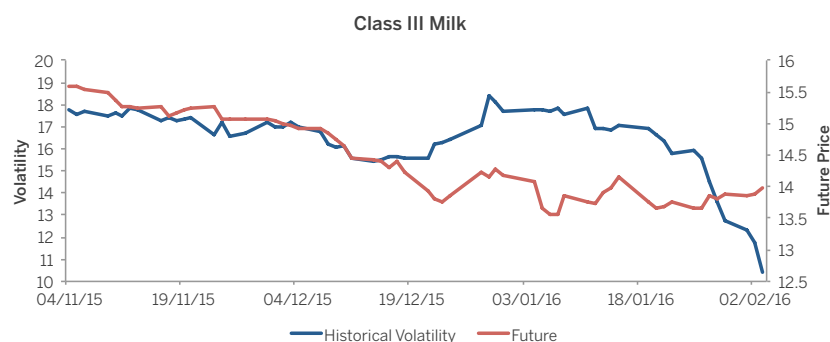
最も活発に取引される農産物オプション -2016年1月

オプション商品	1月ADV	前年比	電子取引の比率	ブット比率
トウモロコシ	66,009	-33%	67%	47%
大豆	58,888	-22%	74%	52%
軟質赤冬(SRW)小麦	34,140	+9%	68%	36%
生牛	20,515	+7%	59%	53%
赤身豚肉	8,735	-26%	74%	59%
大豆ミール	7,969	-36%	59%	48%
大豆油	7,942	-16%	50%	52%
飼育牛	1,793	-23%	85%	59%
Class III 牛乳	1,119	-9%	56%	40%
硬質赤冬(KC HRW)	982	-69%	38%	35%
脱脂粉乳	388	+380%	28%	73%

3月限と9月限をみると、トウモロコシのボラティリティ・カーブがスティープ化



Class III 牛乳のボラティリティは急降下…



FX オプション

1日当たり100億ドルを超えるFXオプションの流動性が存在する、世界最大の規制を受ける為替市場にアクセスしてください。CMEグループは、Profit & Loss誌の読者投票によって選出される「FXオプション最優秀プラットフォーム」賞を受賞し、ほぼすべての市場参加者がCMEグループでのオプションの電子取引を選択するのはこうした理由なのです。

1月のハイライト

- CAD/USDオプション取引は、原油市場との高い相関関係を背景にボラティリティが急騰したことから、104%増の1万2,467枚に。
 - CAD/USDオプションの1月末の総取組高は30%増の7万7,667枚
- JPY/USDオプションの1日平均出来高は56%増の1万7,454枚
- 1月末の総取組高は19%増の69万55枚
- 週次オプションの出来高は22%増と、通常のオプションの伸びを上回る
- FXオプション全体の95%は電子取引で執行

最も活発に取引されるFXオプション - 2016年1月

オプション商品	銘柄コード	1月 ADV	前年比	プット比率
EUR/USD	6E	39,141	-39%	49%
JPY/USD	6J	17,454	+56%	44%
CAD/USD	6C	12,467	+104%	41%
GBP/USD	6B	10,870	+1%	45%
AUD/USD	6A	8,336	+33%	60%
CHF/USD	6S	499	-74%	53%
MXN/USD	6M	141	+176%	26%

FX週次オプション(アメリカン)

- 週次オプションの1月の日次平均出来高は前年比22%増の1万8,346枚
 - EUR週次：ADV 7,985枚、前年比16%減
 - CAD週次：ADV 3,866枚、前年比212%増
 - JPY週次：ADV 3,366枚、前年比82%増
 - GBP週次：ADV 1,772枚、前年比54%増
 - AUD週次：ADV 1,306枚、前年比26%増
 - CHF週次：ADV 51枚、前年比78%減
- FX週次オプションは、連邦準備制度理事会による見通しのアップデート、雇用統計、およびその他の経済イベントなど特定の市場イベント前後においてリスクヘッジに活用することができます。

ブロック取引の最小枚数の引き下げ

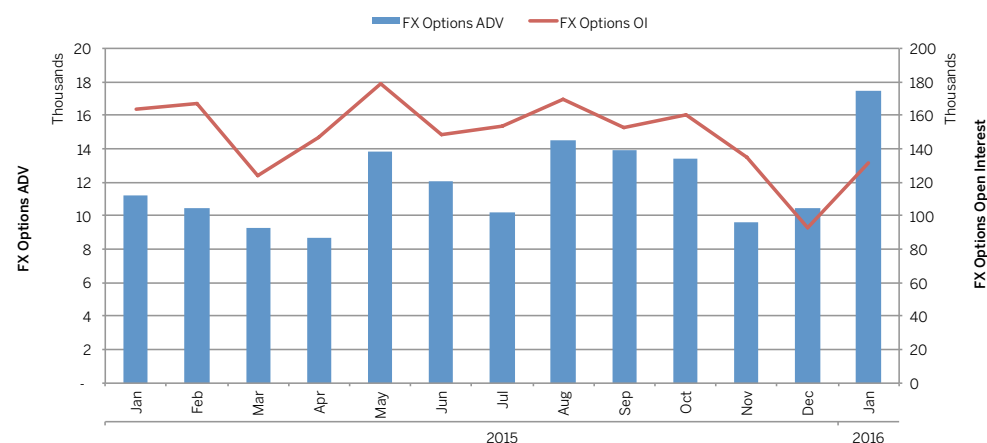
ブロック取引最小枚数の引き下げにより柔軟性が向上

- FX先物30銘柄で50枚から10枚に
- キャンペーン対象のFXオプション10銘柄で50枚から20枚に
- 表彰を受けた清算機関およびFXオプション・プラットフォーム
- smartclickにログインして、ClearPortでブロック取引を直接送信可能

ブローカーの皆さまへ

- CMEグループには、ブローカーのビジネスを成長させるための多くの取組があります。下記にお問い合わせください。
fxteam@cmegroup.com.

日本円のオプション - ADVと総取組高



金属オプション

CMEグループが運営する世界で最も流動性の高い金属市場であるCOMEXおよびNYMEXの一連の金属オプションを活用すると、優良な機会にほぼ24時間アクセスすることができます。CME GlobexとCME ClearPortでは、短期の金オプション、または金、銀、プラチナ、パラジウム、鉄鉱石、銅の月次オプションの取引を提供しており、柔軟性が向上します。

1月のハイライト

- 金属オプションはADV 4万2,963枚、前年比7%減、前月比60%増
- 金オプションはADV 3万7,999 枚、前年比4%増、前月比63%増
- 金属オプションの出来高の70%はCME Globexの電子取引経由
- 金属オプションの月末総取組高は114万2枚

最も活発に取引される金属オプション

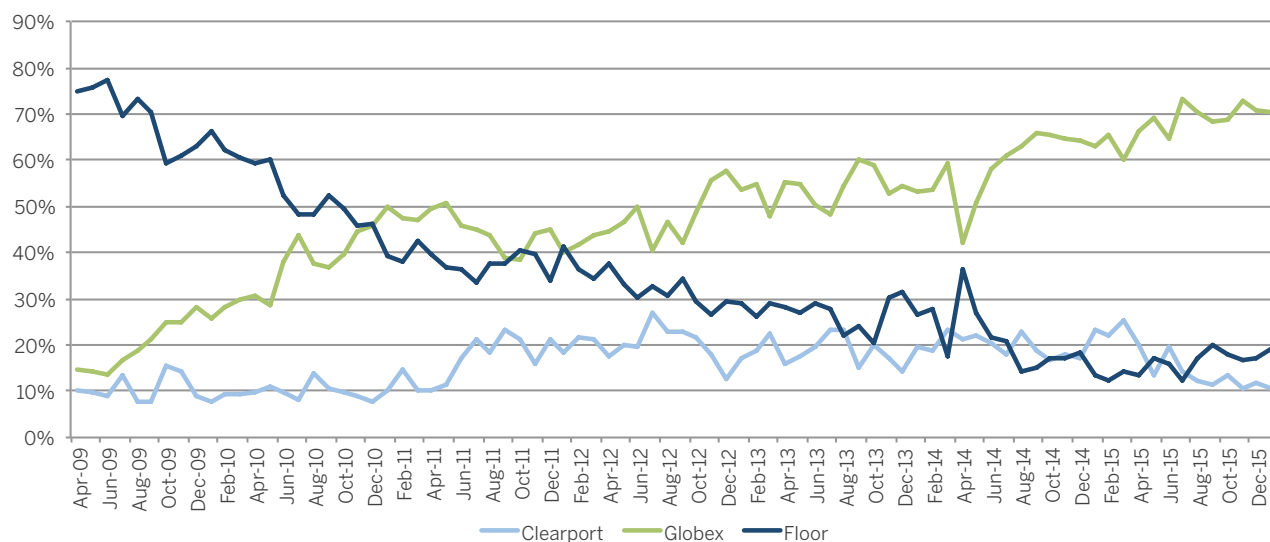
オプション商品	銘柄コード (CME Globex)	ADV (前年比)	電子取引の比率	ブット比率	総取組高*
金	OG	37,999 (+4%)	70%	33%	991,674
銀	SO	3,847 (-54%)	90%	40%	100,572
鉄鉱石	ICT	439 (+189%)	0%	54%	36,681
プラチナ	PO	318 (+3%)	6%	57%	3,980
銅	HX	88 (-11%)	76%	48%	2,593
金週次	OG1-OG5	163 (-6%)	81%	69%	841
パラジウム	PA0	108 (-65%)	7%	16%	4,502

*総取組高は、2016年1月29日現在

銅オプション

- CMEグループは、2015年5月1日現在、銅オプションにかかる手数料をCOMEX会員は免除、非会員は減額しています。この新しい料金体系により、CMEグループは、現在、銅オプションの取引ニーズに対して最も費用効果の高い清算場所となっています。本銘柄は、CME GlobexとNYMEX 取引フロアで売買されており、CME ClearPortで清算手続きを行えます。

金属オプション出来高—取引場所別



金属オプションのリソース

金属市場デイリーレポート

前日の金属市場の動向を要約した日次レポートの購読をお申し込みください。レポートには、出来高、取組高、ブット・コール比率および最も活発に取引されている限月／権利行使価格が盛り込まれています。

cmegroup.com/dailymetals

流動性アラート

ベースメタルおよび貴金属オプションの両方で取引が執行されて市場が変動したときに、リアルタイムで通知を受信します。

cmegroup.com/mtliquidityalerts

3つのアクセス手段

CME Globex

オプション市場における電子取引の最近の成長を背景に、エントリーポイントとエグジットポイント（手仕舞い）が容易になり、執行から清算までのプロセスが合理化されたことで厚みと広がりのある市場となっています。

- 1日平均出来高は200万2,731枚と記録的水準
- 電子取引市場のスピード、透明性、アクセス、および流動性を提供
- 専門のマーケットメーカーが売り買い双方の呼び値をサポート
- 呼び値要請（RFQ）機能により、市場参加者は市場の閑散時でも有利な呼び値を取得可能

オプションのツールとリソース

オプション商品ページ

分析ツール、銘柄情報、学習リソース、研究資料、ツール、情報源など

cmegroup.com/options

QuikStrikeオプション価格&分析

過去・現在のボラティリティ（権利行使価格別）、出来高、取引高情報、デルタ表、オプション価格分析、スプレッド分析、リスクグラフなどへのアクセス

cmegroup.com/quikstrike

呼び値要請(RFQ)機能

ブローカー市場の柔軟性と価格発見をスクリーン上で複製する方法、複数のレッグのオプション戦略を採用して電子取引のための呼び値を瞬時に手に入れる方法、あるいは、流動性が低い場合に特定の権利行使価格に対する関心を生じさせる方法を提供してください。

cmegroup.com/rfq

取引所のフロア

- 1日平均出来高は188枚4,081枚
- セットアップが迅速で、ほぼ瞬時に流動性へのアクセスが可能
- ボイスブローカーとフロアトレーダーが顧客のために価格発見と効率的な取引執行を実現

相対取引

- 1日平均出来高は37枚6,925枚
- 個別交渉の取引で管理と利便性を実現
- CME Clearingの安全性とカウンターパーティ・リスクの軽減

CME Direct

CME Directは、高度な設定が可能な取引フロント・エンドで、CMEの全市場でのオプション・トレーダーにとって最良のソリューションです。

cmegroup.com/direct

オプション電子取引スポットライト

電子取引のトレンドと取引機会に関する四半期概況

cmegroup.com/electronicoptions

先物オプション取引ガイド

オプション取引と主要銘柄に関する入門ガイド

cmegroup.com/optionsguide

記

前年比- 別途定める場合を除き、前年比は2016年1月と2015年1月の比較

前月比 -2016年1月と2015年12月の比較

お問い合わせは専用のサポートチームまで

アセットマネージャー担当

assetmanagers@cmegroup.com

銀行担当

banks@cmegroup.com

商社/一般企業担当

commercials@cmegroup.com

ヘッジファンド担当

hedgefunds@cmegroup.com

自己勘定取引業者担当

proprietarytrading@cmegroup.com

FCM/IB 先物業者担当

intermediaries@cmegroup.com



CME Group

How the world advances

先物取引やスワップ取引は、あらゆる投資家に適しているわけではありません。損失のリスクがあります。先物やスワップはレバレッジ投資であり、取引に求められる資金は総代金のごく一部にすぎません。そのため、先物やスワップの建玉に差し入れた当初証拠金を超える損失を被る可能性があります。したがって、生活に支障をきたすことのない、損失を許容できる資金で運用すべきです。また、一度の取引に全額を投じるようなことは避けてください。すべての取引が利益になるとは期待できません。

本資料に掲載された情報およびいかなる資料も、金融商品の売買を提案・勧誘するためのもの、金融に関する助言をするためのもの、取引プラットフォームを構築するためのもの、預託を容易に受けるためのもの、またはあらゆる裁判管轄であらゆる種類の金融商品・金融サービスを提供するためのものと受け取らないようにしてください。本資料に掲載されている情報は、あくまで情報提供を目的としたものです。助言を意図したのではなく、また助言と解釈しないでください。掲載された情報は、特定個人の目的、資産状況または要求を考慮したものではありません。本資料に従って行動する、またはそれに全幅の信頼を置く前に、専門家の適切な助言を受けるようにしてください。

本資料に掲載された情報は「当時」のもので、明示のあるなしにかかわらず、いかなる保証もありません。CME Groupは、いかなる誤謬または脱漏があったとしても、一切の責任を負わないものとします。本資料には、CME Groupもしくはその役員・従業員・代理人が考案・認証・検証したものではない情報、または情報へのリンクが含まれている場合があります。CME Groupでは、そのような情報について一切の責任を負わず、またその正確性や完全性について保証するものではありません。CME Groupは、その情報またはリンク先の提供しているものが第三者の権利を侵害していないと保証しているわけではありません。本資料に外部サイトへのリンクが掲載されていたとしても、CME Groupが、いかなる第三者も、あるいはそれらが提供するサービスおよび商品を推薦・推奨・承認・保証・紹介しているわけではありません。

CME Groupと「芝商所」は、CME Group, Inc.の商標です。地球儀ロゴ、E-mini、E-micro、Globex、CME、およびChicago Mercantile Exchangeは、Chicago Mercantile Exchange Inc. (CME)の商標です。CBOTおよびChicago Board of Tradeは、Board of Trade of the City of Chicago, Inc. (CBOT)の商標です。ClearPortおよびNYMEXは、New York Mercantile Exchange, Inc. (NYMEX)の商標です。これらの商標は、所有者の書面による承諾を得ない限り、改変・複製・検索可能なシステムへの保存・転載・複写・配布等による使用が禁止されています。Dow Jonesは、Dow Jones Company, Inc.の商標です。その他すべての商標が、各所有者の資産となります。

ここにある規則・要綱等に関するすべての記述は、CME、CBOTおよびNYMEXの公式規則に準拠するものであり、それらの規則が優先されます。取引要綱に関する事項はすべて、現行規則を参照するようにしてください。

CME、CBOTおよびNYMEXは、シンガポールではRecognized Market Operator（認定市場運営者）として、また香港特別行政区（SAR）ではAutomated Trading Service（自動取引サービス）プロバイダーとして、それぞれ登録されています。ここに掲載した情報は、日本の金融商品取引法（法令番号：昭和二十三年法律二十五号およびその改正）に規定された外国金融商品市場に、もしくは外国金融商品市場での取引に向けられた清算サービスに、直接アクセスするためのものではないという認識で提供しています。CME Europe Limitedは、香港、シンガポール、日本を含むアジアのあらゆる裁判管轄で、あらゆる種類の金融サービスを提供するための登録または認可を受けていませんし、また提供していません。CME Groupには、中華人民共和国もしくは台湾で、あらゆる種類の金融サービスを提供するための登録または認可を受けている関連機関はありませんし、また提供していません。本資料は、韓国では金融投資サービスおよび資本市場法第9条5項並びに関連規則で、またオーストラリアでは2001年会社法（連邦法）並びに関連規則で、それぞれ定義されている「プロ投資家」だけに配布されるものであり、したがってその頒布には制限があります。

Copyright © 2016 CME Group and芝商所. All rights reserved.

PM999/00/0216